

## 電池式スピーカーチェッカー

## CT-S01

このたびは、TOA 電池式スピーカーチェッカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、未長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

### 安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みにになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みにになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。



### 注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 電池の液もれに注意する

長期間使用しないときは、電池を取り出しておい

てください。  
電池から液がもれて、火災・けが・周囲汚損の原因となることがあります。



強制

#### 電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。

守らないと、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- ショート・分解・加熱をしたり、火の中に入れたりしない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 指定した電池を使用する。
- (+) と (-) に注意し、表示どおり正しく入れる。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。



強制

### 概要

ハイインピーダンス 100 系スピーカーの配線状態を簡単に確認できるポータブルタイプのチェッカーです。

配線の不良や断線などの導通を確認するチェッカーとしても使用できます。

### 使用上のご注意

- 本機は防水構造ではありません。雨天の屋外や、水滴がかかるような場所では使用しないでください。
- 次のような異常が起きたら電源スイッチを切り、販売店にご相談ください。  
そのまま使用すると、故障の原因となります。
  - ・ 内部に水や異物が入ったとき
  - ・ 音が出ないとき（電源が入っていることを確認後）

- 湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、窓を閉めきった自動車の中、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。

### 仕様

電 源	単 3 形アルカリ乾電池 (LR6) 4 本 (DC6 V)
消 費 電 流	52 mA
電池持続時間	約 8 時間
発 振 周 波 数	500 Hz、1 kHz
断 続 音 の 間 隔	0.5 秒
最 大 負 荷	ハイインピーダンス 100 系スピーカーで 50 W
入 力	外部音源入力： -20 dB*、1.5 kΩ、 φ 3.5 ミニジャック (3P モノラル)
表 示 灯	電源表示灯、出力状態表示灯
設 定 ス イ ッ チ	通常／緊急切換スイッチ、周波数切換スイッチ、鳴動状態切換スイッチ、チェック機能切換スイッチ
使用温度範囲	0 ~ 40℃
使用湿度範囲	90% RH 以下 (ただし結露のないこと)
仕 上 げ	ABS 樹脂、黒 (マンセル N1.0 近似色)
寸 法	80 (幅) × 150.8 (高さ) × 32 (奥行) mm
質 量	186 g (電池別)

\* 0 dB = 1 V

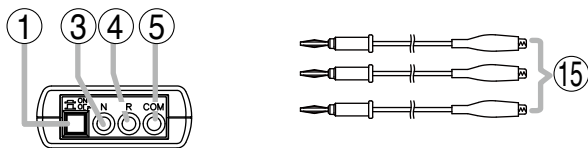
※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

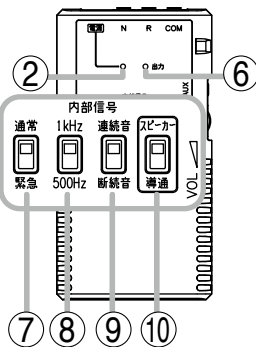
テストリード (黒、1 m) .....	1
テストリード (赤、1 m) .....	1
テストリード (白、1 m) .....	1

## 各部の名称とはたらき

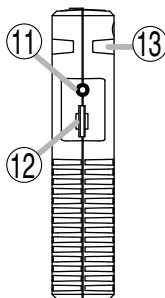
[上面]



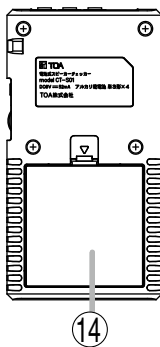
[前面]



[右側面]



[後面]



### 1. 電源スイッチ

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

### 2. 電源表示灯

電源スイッチが ON の状態で点灯します。電池が消耗すると消灯します。

### 3. N 端子 (黒)

テストリード (黒) のプラグを接続します。

### 4. R 端子 (赤)

テストリード (赤) のプラグを接続します。

### 5. COM 端子 (白)

テストリード (白) のプラグを接続します。

### 6. 出力状態表示灯

信号出力時に点灯します。音量が0のときは消灯します。

### 7. 通常／緊急切換スイッチ

通常放送\*1の回線をチェックするときは「通常」側にします。

緊急放送\*2の回線をチェックするときは「緊急」側にします。

### 8. 周波数切換スイッチ

内蔵のテスト信号の周波数を「500 Hz」または「1 kHz」に切り換えます。

### 9. 鳴動状態切換スイッチ

内蔵のテスト信号の鳴動状態を「連続音」または「断続音」に切り換えます。

### 10. チェック機能切換スイッチ

スピーカーの配線をチェックするときは「スピーカー」側にします。配線の導通をチェックするときは「導通」側にします。

### 11. 外部音源入力端子

φ 3.5 mm ステレオミニジャック。

テスト信号として、市販のオーディオプレーヤーなどを使用するときは、この端子に接続します。端子接続時に内部音源から外部音源に切り換わります。

### 12. 音量調節器

出力の音量を調節します。

### 13. ストラップ取付部

### 14. 電池収納カバー

### 15. テストリード (1 m、黒・赤・白)

\*1 スピーカーにアッテネーターが接続されているとき、アッテネーターを経由して音声を出力します。

\*2 スピーカーが3線式配線の場合、アッテネーターが接続されていてもアッテネーターをバイパスして音声を出力します。

## 使いかた

### ご注意

- スピーカー回線をアンプに接続した状態で使用しないでください。正しく確認ができません。
- 確認するときは、スピーカー回線に電圧が加えられていないことをお確かめください。電圧が加えられていると、故障の原因となります。

### メモ

外部アッテネーターを接続する配線の場合、スピーカーの ATT 端子の配線に接続することもできます。

## 準備をする

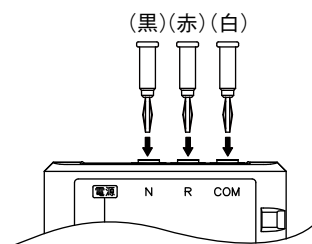
### ご注意

- 電池は付属していません。単3形アルカリ乾電池 (LR6) 4本を別途ご用意ください。
- 充電電池は使用しないでください。過放電により、故障することがあります。

**1** 本機後面の電池収納カバーを外し、電池をセットする。

電池の極性を表示に合わせてセットしてください。

**2** テストリードを接続端子に接続する。



**2-1** スピーカーの配線状態を確認するとき

[3線式配線の場合]

テストリードの黒プラグ→N端子 (黒)

テストリードの赤プラグ→R端子 (赤)

テストリードの白プラグ→COM端子 (白)

[2線式配線の場合]

テストリードの黒プラグ→N端子 (黒)

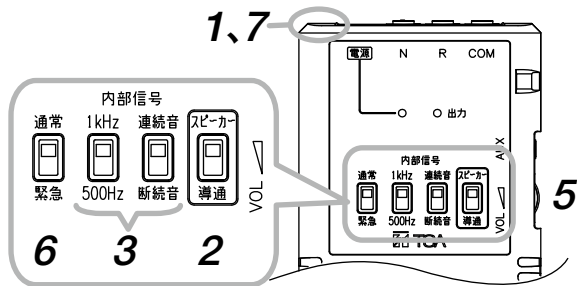
テストリードの白プラグ→COM端子 (白)

**2-2** 配線の導通を確認するとき

テストリードの黒プラグ→N端子 (黒)

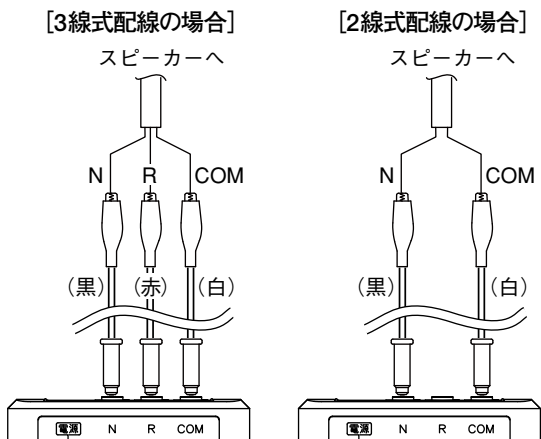
テストリードの白プラグ→COM端子 (白)

## ■ スピーカーの配線を確認する



- 1 電源を入れる。  
電源表示灯が点灯します。
- 2 チェック機能切換スイッチを「スピーカー」側にする。
- 3 テスト信号の周波数と鳴動状態を設定する。  
周波数切換スイッチと鳴動状態切換スイッチで設定します。  
**メ モ**  
市販のオーディオプレーヤーなどテスト信号に外部音源を使用する場合は、外部音源入力端子に接続します。テスト信号が外部音源に切り換わります。

- 4 テストリードをチェックするスピーカー入力の端子配線に接続する。



- 5 音量調節器で音量を調節する。
- 6 テスト信号または外部音源がスピーカーから聞こえるか確認する。  
**メ モ**  
正しく配線されていれば、スピーカーからテスト信号または外部音源が聞こえます。  
聞こえない場合は、スピーカーの配線が正しくないことが考えられます。配線が正しいか確認してください。

### 6-1 3線式配線の場合

通常／緊急切換スイッチで通常放送と緊急放送を切り換えて確認する。

### 6-2 2線式配線の場合

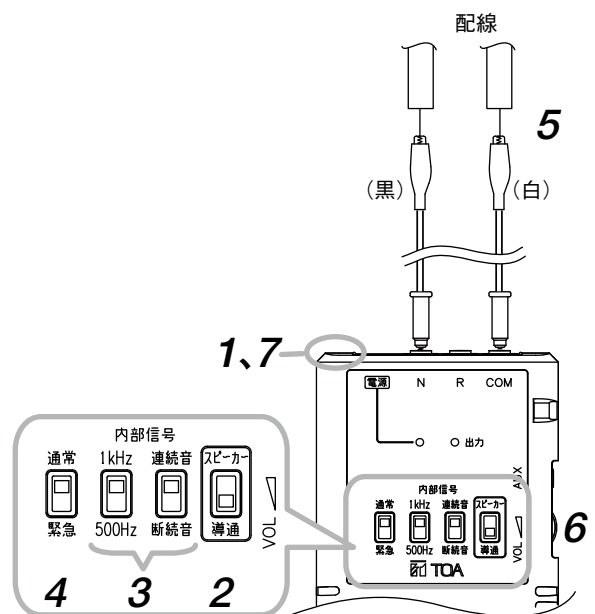
通常／緊急切換スイッチを「通常」に設定して確認する。

- 7 使用後は電源を切る。

#### **ご注意**

切り忘れると電池が消耗します。

## ■ 配線の導通を確認をする



- 1 電源を入れる。  
電源表示灯が点灯します。
- 2 チェック機能切換スイッチを「導通」側にする。
- 3 テスト信号の周波数と鳴動状態を設定する。  
周波数切換スイッチと鳴動状態切換スイッチで設定します。
- 4 通常／緊急切換スイッチを「通常」に設定する。
- 5 テストリードをチェックする配線の両端に接続する。
- 6 音量調節器で音量を調節する。  
本機からテスト信号が鳴ると導通しています。  
**メ モ**  
導通があるときは、配線にスピーカーが接続されているとスピーカーからもテスト信号が鳴ります。

- 7 使用後は電源を切る。

#### **ご注意**

切り忘れると電池が消耗します。

# 保証書 持 込

品番	製造（ロット）番号		この保証書は、下記記載の内容により無償修理を行うことをお約束するものです。 お買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証期間	お買い上げ日から1年間		
お買上日	□□□□年□□月□□日		
お客様	ご住所	□□□□□□ TEL ( ) -	販売店 住所・店名・TEL
	お名前	様	

上記保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、下記をよくお読みください。

## <無償修理規定>

- 上記記載の保証期間内において、取扱説明書、本体注意ラベルなどに従った、正常な使用状態で万一故障した場合、商品と上記保証書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。お買い上げの販売店が無償修理を致します。
- 保証期間内でも、次の場合には有償修理になります。
  - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
  - お買い上げ後の輸送、移転、落下などによる故障および損傷。
  - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
  - お客様のご事情により出張修理を行った場合の出張費用。
  - 自然消耗により部品を交換する場合。
  - 本製品に接続している当社指定以外の機器故障に起因する故障。
  - 保証書のご提示がない場合。
  - 保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または、字句が書き換えられた場合。

- この保証書は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

- \* 本製品の故障に起因する付随的損害についての保証はお受けできません。
- \* この保証書は本書に明記した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にお問い合わせください。

## アフターサービスについて

### 修理を依頼される時

取扱説明書をお読みになって、ご不明な点やご不審な点があれば、お求めの販売店にご連絡ください。

※ 保証期間中の修理は保証書の規定に従って、お求めの販売店で無償にて修理をお受けいたします。

ご連絡していただきたいことは、お客様のご住所・お名前・電話番号、製品名・品番・購入日、故障または異常の状況（症状）

※ 保証期間が過ぎている場合は、お求めの販売店にご相談ください。ご希望により有料で修理します。アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お求めの販売店にお問い合わせください。

<b>TOA お客様相談センター</b>	フリーダイヤル <b>0120-108-117</b>	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00～17:00（土日、祝日除く）	ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-05-00050-00